最高の技術者人財を育てるインストラクターになる

技術・ノウハウ伝承の指導法研修

1. ねらい

●学ぶ方に技術・知識を効果的に伝え、教えられた方は技術・知識を活用できるようになります。

技術者(学ぶ方)が必要とされる技術や情報を理解し、現場で活用できるようになります。そして、自らが新しい技術や情報を得る努力を行い、さらに後輩の指導や新しい情報の発信をバランス良く実践し、組織やチームの発展に貢献できるようなります



- ◎成人の学習理論や技術者メンタリティを理解し、技術・ノウハウ伝承の重要性を理解する
- ◎効果的な技術・ノウハウ伝承の仕組みやポイントを理解する
- ◎技術者が計画された期間で、計画された技術を身に付けることができるように、相手のレベルに応じた指導(インストラクション)できる知識やノウハウ、スキルを身に付けます
- ◎相手のレベルに応じた指導プロセス設計、方法論選定ができる

2. 背景

現状、技術者の世代交代や企業環境の変化から、新しい技術の習得、また、若い技術者に既存の技術を伝承する必要が高まっています。しかし、技術者を効果的に育成する指導(インストラクション)技術に関しては十分とはいえない環境です。早急に次世代技術者育成のための技術者指導(インストラクション)スキルが求められています。

3. 研修プログラム

時間	内容
9:30	オリエンテーション(研修内容の紹介、自己紹介)
10:00	1. 現状の技術者指導における自分達の問題点を考える (自分達の現状を理解する)
	(1)演習:技術者指導における自分達の問題点は何か?(個人・チーム討議、・全体共有) (2)講義:他社事例と固有技術の形式知化への重要性を学ぶ
11:00	V ALLE CONTROL OF THE
11.00	2. 技術者のメンタリティーを考えた指導法を学ぶ (1)講義:技術者のメンタリティーを考えた指導のポイントを学ぶ(成人の学習理論)
	(1)講義:技術指導の設計を学ぶ(指導計画書・スキルマップ・スキルインベントリ・キャリア開発のポイント)
	(3)講義:技術指導プロセスと重要なポイントを学ぶ(指導プロセス・コミュニケーションのポイント)
12:00	春 食
13:00	3. ストーリ・インストラクション(ケース・スタディ)
	(1)指導の準備:キャリアデザイン・指導(インストラクション)計画(暗黙知・形式知)の作成
	演習:自分の部下または後輩を想定したキャリアデザインと技術指導の計画を考える
	(2)学ぶ準備:めざすこと、現状、何をするか、どのような成長があるかを考える
44.00	講義:論理的に伝えるポイントとやる気を高めるコミュニケーションのポイントを学ぶ
14:20	(3)説明と指導:技術者のやる気を高める原理原則を考える(聴く、伝える、質問スキル)
	講義:説明と指導の原理原則を学ぶ
	演習:ロールプレイで目標と実践計画を伝える
15:40	(4)成果の評価と今後の活動
	講義:成果評価のポイントと今後の活動意欲を高めるポイントを学ぶ
17:00	演習:ロールプレイ(8フレームアウトカムを活用し、今後の活動の意欲を高める)
17:30	4. まとめ:指導者としてのアクションプラン策定と共有

備考:状況によっては、内容・進め方を変更する場合があります。